

進路だより

第16号

令和7年9月26日発行

文責:東豊高校進路指導部
題字:書道部

9,10月の進路活動予定

9/26(金) 前期終業式

9/29(月)30(火) 学期間休業
(リフレッシュ)

10/1(水) 後期始業 成績会議

10/3(金) 進路委員会(大学短大)

自主的な活動が未来のあなたにつながります

なぜ、高校生活で頑張らないといけないのか。勉強がもともとできないから、やっても無駄とか、テストに向けて何も準備しないで受けるとか、提出すべきものを出さないとか。色々と頑張っていない状況が見られます。前期が終わるこの機会にこれまでを振り返って見てください。振り返ってみて自分で考えて行動できているなら、大丈夫です。今の頑張りは未来につながります。でも、そうではないという人は自分だけの力で何とかしようしたら、もの凄いエネルギーが必要です。だから毎日少しづつ、ひとつずつやらねばならないことをやるんです。毎日のその活動のすべてがエネルギーを蓄えて、後々の大変な時にパワーとして発揮されます。

なぜボランティア活動に参加することが良いことなのか。なぜ学校祭などで懸命に準備をして盛り上げいかなければならないのか。なぜ部活動や生徒会活動に積極的に取り組むのか。なぜ各種検定などの資格をとるために頑張るのか。自分の力を信じて自主的に努力をしようとする者はやはり強いのです。有利になるのです。そのような日頃からの頑張りが推薦につながります。そんな人は自分自身に自信を持っているので強いし、それが推薦に値するのです。

ところで、3年生になると就職も進学も問わず、自分のことを文章で書き表さないなりません。例えば、志望理由書、自己推薦書、履歴書などです。1年生の時に頑張っていなかったら、2年生の時は何もやっていなかったら書く材料がありません。今からでも遅くありません。気づいた時から行動に移しましょう。例えば、ボランティア活動でどんなことをして、そしてどんなことを学んだのか。インターンシップでどんなことを実習して、どんなことを学んだのか。きつい思いをして部活動に取り組んで、何を身に付けたのか。だから今から動きましょう。絶対にプラスになります。

ここからは伝え聞いたお話です。農業高校に在籍していたある高校生が2年生になり選択実習で養豚班を選びました。養豚とは豚の飼育に関することです。その生徒はたまたま豚の実習を通して豚の乳に注目し、豚乳の研究をすることにしました。でもこれは誰もやっていない研究だったんです。その研究に力を注いで、最終的には大学に進んでさらなる研究に取り組みました。このように何かのきっかけで自分の進路は変わっていきます。だから高校生活を充実させていけば、可能性は広がっていきます。何せどこにそのきっかけが転がっているのかわかりませんので、見逃さないようにしてください。

いつまでも自分の殻に閉じこもっていては成長は見込めないので、広い世界に飛び込みましょう。自分の道はあなたしか拓けません。そういうえばいい言葉があります。東豊高校の校訓です。自ら汗を流して道を拓く、つまり流汗拓道です。前期の活動を振り返り、後期にどのように行動するのかを考えましょう。未来のあなたを作り上げるのはあなた自身です。



等身大のあなたを磨け！

等身大の自分で仕事をすることが大事だということについてお話ししたいと思います。等身大とは「人の身の丈と同じ大きさ」という意味があります。熊本県の県庁にはワンピースのルフィの等身大の像があります。作者尾田栄一郎さんが出身地であることで、熊本で起きた大地震からの復興を願って建てたそうです。今ではファンの観光スポットになっています。等身大にはもう一つ「自分の境遇や能力に見合っていること」という意味もあります。



東豊高校に入学し、進級して、卒業することが皆さんの使命です。日々の授業を真剣に取り組み、部活動に励み、人間との関わりを学ぶ。その一つひとつの活動すべてが、色々なことの可能性を広げてくれる。可能性が広がれば、見えてくる未来も変わってきます。

しかし多くの生徒が東豊高校から与えられたチャンスを見過ごしてしまう。皆があたり前にできるようにならないといけないと思っています。中学校の学び直しをできる東豊高校でやり直したいと思うなら、ここで頑張るしかない。もし、自分で努力できないのなら仲間に聞けばよいし、先生方に質問すればよいのだと思います。

自分の大切な進路を決めなければならない3年間なのだから、最低限等身大程度のことはしっかりとできるようになって、それ以上に頑張ってもっと成長してほしいと思います。その人の力量がどれくらいなのかに係わなく、その人自身がその人に見合った力を出し切る。決して背伸びをせずに、自分にできることで力を発揮していくことが意外かもしれませんのが、これが大切な事なのです。

まずは等身大の自分をじっくりと鍛えることからはじめてみてはどうでしょう。

あなたはどう思いますか。

インターンシップ集会が開かれました

2年生のインターンシップ集会が9月16日の4校時に行われました。希望調査を経て、皆さん一人ひとりがお世話になる企業が決定しました。この学期間休業中に、事前訪問する生徒もいると思います。それらの準備を経て、11月12日、13日の当日を迎えます。あと1か月半後の事ですが、見学旅行が予定の中に挟まっているので、すぐに当日がやってきます。そして、仕事をすることはどんなことなのか。自分の適性のある仕事はどんな仕事なのか。アルバイトでは感じ取れない多くの事を学んできたださい。
当日は東豊高校からそれぞれの実習先へと出かけます。一人の社会人になって、誰から見ても素晴らしい態度と思われるよう取り組んでください。もうすでにインターンシップは始まっています。頑張るのは当日だけではありませんよ。頑張って！

来校された企業様の貴重なヒント公開

お世話になっている企業様がまだまだあります。今回も詳細をご紹介します。

UDトラックス北海道(株)

大型トラックを専門に扱う自動車ディーラーです。自動車整備士として点検や修理を行う整備士を募集します。大型トラックを一般的な個人が購入することはまずないので、お客さまは企業になります。企業は基本土日が休みなのでこの会社も土日は休みになります。大型トラックはその部品も大型なので人力で運ぶことはなく、機械で運ぶので返って筋力に自信のない人でも大丈夫。女性の整備士もいますので、女性も活躍できます。2022年に入社した東豊の先輩もいます。

石屋製菓(株)

札幌市西区に本社を置く工場です。就業場所としては主にJR北広島駅から徒歩5分の北広島工場の可能性が高いという話でした。募集している職種は製造職ですが社内での人事異動も活発に行われており、社員の特徴を捉え様々な経験が出来ることをアピールしていました。社員に求める能力は周りの話に耳を傾けることが出来る力や社員同士が協働して仕事に取り組むことが出来る力です。

(株)タケイチ工業

ゼネコンの仕事をメインに防水工事をしている会社。新琴似に本社があり、一級建築士事務所となり、技術向上を目指す社員が各年代バランスよくいるので、働きやすい環境になっている。新築現場では土日は休日となっている。改修の工事現場では土日勤務になることはあるが、その場合には平日に休みをとるなど対応をしている。若い人の意見を取り入れ作業のユニフォームが青となっている元気な会社です。

大日本印刷(株)

指定校求人として札幌工場の事務部門スタッフを募集している。札幌苗穂のアリオの近くに会社があり、営業員が依頼を受けた内容を企画制作部門への橋渡しをしていくPC作業や電話メールでの折衝など業務は多岐にわたる。市内の5校での指定校求人のため本校では1名の募集をお願いしたいとのこと。一般常識などの学科試験、クレペリン検査、面接となるが一番比重が大きいのが面接内容となる。採用は北海道で1名となるので是非推薦していただきたい。20年ぶりの高卒採用ということになるそうです。なお札幌工場ではスマートコミュニケーション部門で色々な印刷物を作成しています。皆さんに馴染のあるところではプリクラ、ICカードなどを機密情報の配慮しながら製造し、法人の顧客様を支えています。

進路希望調査の2回目の提出のご協力を（保護者の皆様へ）

今年度2回目の進路希望調査が始まりました。この進路希望調査を元に進路の業務が進んでいきます。1、2年生の皆さんは保護者と相談の上、進路希望調査の提出にご協力をお願いします。できれば「未定」の選択肢を選ぶことのないようにお願いします。企業も学校も今年度の事だけを気にしているわけではなく、1年後、2年後のことを見据えています。そのためにも現時点での正確なデータが必要となります。特に、就職を希望している場合には、どの方向性で考えているのかも貴重な情報となります。期日は9月29日までに回答のほどよろしくお願ひいたします。

北海道技建株

本社が小樽の銭函にある道路の線を引く会社です。交通インフラのため道路の区画線を引く仕事は欠かすことできません。道路の標示を施工するためには高い技術が必要です。男性女性問わず、活躍できる場があります。20代の職員もあり、皆仕事に誇りを持ち、楽しんで頑張っています。50代の本校を卒業した先輩は今年、東区の道路の線を引いたそうです。決して目立つ仕事ではありませんが、その仕事には正確さが求められます。またその先輩は会社一の資格の持ち主で、毎年必ず1つの資格を取る努力を続けているそうです。道路が作業現場となるため、勤務体制が変わることもあるのが大変ですが、やりがいはあるとの事でした。冬場は本州に長期の出張となることもあります。冬場も入札などで割に忙しいそうです。

(有)弘栄電気

JR北海道の線路上の架線補修業務。JRの終電後の夜間に作業する。病気手当等諸手当が充実。入寮すると昼食代3万円支給。作業時は完全に電気を遮断してから作業に当たる。安全面には徹底している。夜型人間の方が良い。

(株)共成レンテム

本社を帯広に構えるこちらの企業は、建設現場などで使用される各種機械のレンタルを行っており、返却された機械の整備・メンテナンス業務も重要な役割となっています。全国に約80の営業所を展開しており、近くでは札幌市白石区にも拠点があります。職場では男性社員が多い傾向にあるものの、女性の受け入れにも積極的で、性別を問わず活躍できる環境が整いつつあります。ここ数年で基本給のベースアップも実施されており、残業代も1分単位から支払われ待遇面の改善にも取り組んでいる企業です。入社後は、道外で約2か月間の研修が予定されており、その中で必要な資格取得のサポートも行われます。研修体制が整っているため、初めての業界でも安心してスタートできます。また、選考では志望理由を重視しており、「なぜこの仕事に興味を持ったか」「どんな思いで働きたいか」をしっかり伝えることが大切です。元気で前向きな姿勢のあるバイタリティのある高校生を歓迎しているとのことでした。

(株)サンゲツ

本校の卒業生を多く受け入れていただいている企業さんです。本社は名古屋ですが、募集は東雁来の学校の近くの大きな倉庫で(サッカー場が近くにあるところです)、壁紙の発注を受け、それを発注通りのサイズに切り分け梱包し発送するという仕事です。力作業になるかと言えば、そうではなく、今は人力ではなく機械操作で、重たい物も動かせるので、女性も大丈夫のこと。興味があればぜひ職場見学を。